

帯広駐屯地を使用する陸上自衛隊オスプレイに関する要望書

このたび、北海道防衛局から、離発着訓練を実施するため、令和6年8月22日に、陸上自衛隊オスプレイが、帯広駐屯地に飛来する予定が発表されました。

令和5年11月に発生した米空軍オスプレイの墜落事故もあり、安全性に対する市民の不安が払拭されている状況とは言い難く、駐屯地が市街地に隣接している本市としては、訓練におけるオスプレイの離発着に関し安全の確保等に懸念を持っております。

帯広駐屯地を使用する離発着訓練に当たりましては、国による十分な説明や安全管理の徹底のほか、十勝飛行場の運用に関して昭和59年に締結した「環境保全に関する協定書」を尊重し、市民生活に支障をきたすことがないように、最大限の配慮をお願いいたします。

令和6年8月9日

北海道防衛局長 福島 邦彦 様

帯広市長 米沢 則寿